

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

1 実践テーマ	【 I、II 】
2 実施対象者	桂川町立桂川中学校 1年生 93名 2年生 118名 3年生 98名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間・学校行事） ② 行事名（オリンピック・パラリンピック教室）
4 目標 (ねらい)	オリンピックの講演を通して、オリンピズムの教育的価値（努力の喜び・フェアプレイ・他者への尊敬・卓越性の追求・バランスのとれた身徳知）を知るとともに、スポーツへの関心を高める。 また、「おもてなし」精神を備えた大会において、ボランティア活動の意義を考え、積極的にその活動にのぞむ生徒の育成を目指す。
5 取組内容	<p>題名 オリンピック・パラリンピック教室 ～2012年ロンドンオリンピック銀メダリスト千田健太による講演・実技指導～</p> <p>日時 平成31年1月15日（火曜日） 11:00～12:50</p> <p>場所 桂川町立桂川中学校 体育館</p> <p>講演</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>フェンシングは手足が長い方が有利とされ、千田さんは外国人選手との体格の差を埋めるため、「素早い足の動きを研究し、人一倍練習を重ねた」という。</p> <p>宮城県気仙沼市出身。東日本大震災では大切な仲間をなくし、「五輪ほど覚悟を持って臨んだ試合はなかった。地元では多くの人が応援してくれて、ありがたく、スポーツをしていて良かったと思った」と話した。</p> <p>（平成31年1月19日西日本新聞筑豊版より抜粋）</p> </div> <p>※千田健太（ちだけんた）氏。東京都在住、宮城県気仙沼市出身、中央大学卒、筑波大学大学院修了。2012年ロンドンオリンピックでは男子フルーレ団体で銀メダルを獲得。全日本選手権では2度にわたり優勝。日本フェンシング協会理事、JOCアスリート委員、日本スポーツ振興センター所属。</p>



↓ 生徒の質問にこたえてくれる千田さん。

「あがらない方法は」「選手村の様子は」などの質問をしました。



実技指導



← 用具の付け方を指導していただきました



← フェンシングのルールを教えてくださいました。



← 各学年男女1組ずつが試合を体験しました。

3年生男子の勝者は千田さんと対戦することが出来ました。

→



6 主な成果

本事業の成果を、次の3点に分け、生徒の感想や意見文（枠内）をもとに報告する。

1. スポーツへの関心を高めることが出来た。

私は、今までフェンシングをテレビで見たことがあるくらいで、興味がありませんでした。でも、千田さんの講演を聞いたり、実際にフェンシングをしているところを見て、私もやってみたいと、とても興味を持ちました。

千田様とフェンシングでお手合わせすることが出来たのは私の一生の思い出です。

2. オリンピズムの教育的価値（努力の喜び・フェアプレイ・他者への尊敬・卓越性の追求・バランスのとれた身徳知）を知ることが出来た。

私は、陸上をしています。競技は違うけれど、講演や質疑応答で「緊張しない方法」を聞いて、すごくためになりました。私はいつも緊張するほうなので、緊張に負けずに頑張っていきます。

「努力は人を裏切らない」という言葉が千田選手の生き様そのものだと思いました。そのように出来たのは支えてくれた友達がいたからということも聞き、やはり人の支えがあるからこそ成功することが出来ると、話を聞いてわかりました。

お話しいただいたように、どんな困難にも打ち勝つ精神で、高校受験を頑張っていこうと思います。

3. 「おもてなし」精神を備えた大会において、ボランティア活動の意義を考え、積極的にその活動にのぞもうとする姿が見られた。

事前にフェンシングや千田選手について調べて、千田選手と対戦したかったのですが、同級生の〇〇くんが千田選手との対戦のチャンスを譲りました。着替の手伝いやセコンドに回って、〇〇くんを支えることが出来たと思います。自分もフェンシングをやった見たかったけど、悔いはありません。

7 実践において工夫した点

特色 フェンシングの用具をそろえること。

(事業の特色)	<p>福岡魁誠高校フェンシング部から</p> <p>①周辺機材：1セット（審判機、リール、中間コード、延長コード）</p> <p>②身に着ける用具：6セット（マスク、ユニフォーム上下、プロテクター、メタルジャケット、グローブ、剣、コード）</p> <p>を貸していただけようになったことがとてもよかった。</p> <p>福岡魁誠高校の跡部校長先生をはじめ、松井副校長、池上教頭。そしてフェンシング顧問の大石先生の協力があったから実現することが出来た。</p>
8 主な課題等	<p>1. 偉大な講師との連絡の難しさ</p> <p>オリンピック銀メダリストとなるとお忙しいので、（また、こちらでも緊張するので、）なかなか連絡が取りづらく、事前の打ち合わせが難しかった。</p> <p>2. 時期と場所の調整</p> <p>空調施設がある町の体育館を借りることが出来ず、冬場の体育館での開催にあたって寒さ対策が難しかった。</p> <p>（当日、寒さが緩んで無事行うことが出来た。）</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>今回、千田健太さんに来校していただくことができた。オリンピックのメダリストの講演・実技指導に生徒たちの目の輝きが違って見えた。このことを通して、生徒に本物にふれさせることの大切さを改めて確認させられた。</p> <p>そこで、来年度以降も、オリンピックの講演が出来るように、PTAや桂川町に予算付けをお願いしたいと考えている。</p>